

平成27年度当初予算案 (平成26年度2月補正含む)

主要事項説明資料

農 林 水 産 部

主要事項説明資料目次

農 林 水 産 部

ページ	事業名	担当課
1	京力農業・農村総合対策事業費	各課
2	京都次世代育成学舎事業費	各課
3	健康京野菜研究開発事業費	流通・ブランド戦略課
4	きょうと「食の安心・安全」確保事業費	食の安心・安全推進課
5	丹後・食の王国構想セカンドステージ推進事業費	農村振興課
6	みやこ構想セカンドステージ加速化推進事業費	農村振興課
7	「公共員」配置推進費	農村振興課
8	京都モデルファーム推進事業費	担い手支援課
9	農業者経営復興特別支援事業費	担い手支援課
10	「京もの祭」開催事業費	流通・ブランド戦略課、農産課
11	革新的技術実証研究事業費	流通・ブランド戦略課
12	宇治茶世界文化遺産登録推進戦略事業費	農政課、農産課
13	茶業研究所機能強化整備事業費	流通・ブランド戦略課
14	農地中間管理事業推進基金積立金	担い手支援課
15	保安林等適正整備事業費	林務課、森林保全課
16	成長型林業推進事業費	林務課
17	京都モデルフォレスト推進事業費	モデルフォレスト推進課
18	全国育樹祭開催準備費	モデルフォレスト推進課
19	野生鳥獣被害総合対策事業費	森林保全課
20	緑の公共事業費	共通
21	農林水産業基盤整備事業費	共通

事業名	^{きょう りよく} 京 力 農 業 ・ 農 村 総 合 対 策 事 業 費		
予算額	3,643,626千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨 担い手の減少・高齢化等に的確に対応し、力強い京都農業づくりと持続可能な農山漁村づくりを展開するため、農業法人等を核とした農業経営構造への転換や地域資源を活かした農山漁村ビジネスの創出等を総合的に推進</p> <p>2 事業概要</p> <p>【推 進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「京都府農林水産戦略会議（仮称）」の設置 1,000千円 行政、農林水産業関係団体の代表者や有識者で構成し、オール京都体制で重点施策について今後の方向性を協議 <p>【農業を守り育てる】 ～産業戦略～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業フロンティア戦略 588,229千円 農地の掘り起こし・マッチングと規模拡大・6次産業化支援による経営基盤強化 ○ 需要対応生産戦略 212,100千円 高収益型作物への転換・生産の安定化（周年・安定供給） ○ 農業生産維持戦略 1,771,800千円 多様なニーズに対応し、持続可能な農業を下支え ○ 6次産業化戦略 285,910千円 ブランド化・6次産業化により、成長産業としての基盤を確立 ○ 人材育成戦略 539,187千円 オール京都で農林水産業を支える次代の担い手を育成 <p>【農山村の交流・創生】 ～地域戦略～</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 集落機能維持・向上戦略 245,400千円 村の活力と生活満足度を維持・向上 		
担当課名	農 政 課 企画政策担当	課・担当 電話番号	075-414-4898

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 農林水産戦略推進事業費		
予算額	1,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>TPPや国の農政の見直し、地方創生の動き、頻発する災害など、変化する情勢や府民ニーズに対応した競争力のある農林水産業及び持続可能な農山漁村づくりのための施策を推進</p> <p>2 事業概要</p> <p>行政、農業団体、林業団体、漁業団体の代表者や有識者で構成する「京都府農林水産戦略会議（仮称）」を設置し、オール京都体制で取り組む重点施策について今後の方向性を協議</p>		
担当課名	農 政 課 企画政策担当	課・担当 電話番号	075-414-4898

農 林 水 産 部

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 農業フロンティア事業費		
予算額	588,229千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>「京都府農業農村創生センター（仮称）」を設置し、府農地中間管理機構・農業会議・府・市町村の協働により、貸出農地の掘り起しや、借受け希望者とのマッチングを行うとともに、受け手である集落営農組織等の規模拡大・6次産業化の取組を支援することで、担い手への農地集積を推進</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 担い手農地活用加速化事業 403,229千円【1-2-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農地中間管理機構による、貸出農地の掘り起こしや、担い手へのマッチング、借受け農地の保全管理等を実施 ○ 地域の将来像について、集落での話し合いにより策定された「京力農場プラン」に基づいて、機構に農地の貸付けを行った地域等に対し、協力金を交付 等 <p>(2) 京力農場づくり事業 185,000千円【1-2-2】</p> <p>集落営農組織等の法人化、経営多角化や6次産業化などの取組に必要な販路開拓・新商品開発や施設・機械整備等を助成</p>		
担当課名	担い手支援課 新規就業・金融担当 農業ビジネス担当 農 産 課 京 野 菜 振 興 担 当	課・担当 電話番号	075-414-4902 075-414-4908 075-414-4944

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 担い手農地活用加速化事業費		
予算額	403,229千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>農業経営の規模の拡大、農用地の集団化、新規農業参入の促進等により、担い手のニーズに対応した農地集積の加速化を推進</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 農地中間管理機構事業 102,709千円 農地の中間受け皿となる京都府農地中間管理機構が、貸出農地の掘り起こしや担い手へのマッチング、借受け農地の保全管理等を実施</p> <p>(2) 機構集積協力金交付事業 300,000千円 地域の将来像について、集落での話し合いにより策定された「京力農場プラン」に基づき、農地中間管理機構にまとまって農地の貸付けを行った地域及び同機構に対する貸付けに伴って離農又は経営転換する者等に対して協力金を交付</p> <p>(3) 機構特例事業 520千円 農地の買入に必要な資金の借入に係る利子助成</p>		
担当課名	担い手支援課 新規就業・金融担当	課・担当 電話番号	075-414-4902

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 京力農場づくり事業費		
予算額	185,000千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 集落営農組織等の法人化、経営多角化や6次産業化などの取組を支援し、農作業受託や農地集積、契約栽培等を推進することで、集落営農組織等が核となり、中核的な担い手が不足する集落を牽引する力強い農業経営構造への転換を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 集落営農発展型農場づくり事業 法人化や経営多角化、農地集積や高収益型作物の新規導入の推進等、集落営農組織等の経営基盤強化に必要な取組を支援</p> <p>① 農地集積型 ※ 要件：中核的担い手が不足する集落から新たに農地を5ha以上集積、高収益型作物の生産及び販売又は加工 等</p> <p>② 京野菜生産拡大型 ※ 要件：需要が高い京野菜を新たに30a以上生産、生産と出荷調整の分業化体制の確立 等</p> <p>(2) 企業的農業経営体づくり事業 6次産業化による農業経営体の経営強化を、ビジネスプランの作成・ブラッシュアップや施設・機械整備助成により支援</p> <p>① 農業経営体育成事業 6次産業化などにより販売金額1億円を目指す農業法人等の取組を支援</p> <p>② 農企業者育成事業 営農の規模拡大により販売金額2千万円を目指す農業者等の取組を支援 ※ 要件：現状の20%以上の農地を集積かつ、新規就農研修生の受入れ又は新規に1名を雇用</p> <p>③ 食品関連企業参入促進事業 契約栽培などを通じた地域の担い手を確保・育成するため、食品関連企業が実施する農産物処理加工施設の整備を支援</p>		
担当課名	担い手支援課 農業ビジネス担当 農 産 課 京野菜振興担当	課・担当 電話番号	075-414-4908 075-414-4944

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 京野菜等生産加速化事業費										
予算額	148,800千円	新規・継続の別	継 続								
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 市場・消費者ニーズに対応可能な生産量確保を図るため、生産拡大や安定出荷に必要な施設整備等を支援するとともに、普及センターによる技術指導等の伴走支援を実施</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 京野菜生産加速化事業費 137,000千円</p> <p>① パイプハウス等整備促進事業 出荷の回転数を上げることや出荷時期の調整が可能なパイプハウス等の整備を支援</p> <table border="1" data-bbox="400 1167 1445 1597"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>3戸以上の農業者で組織する団体 等</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>パイプハウスの新設経費及び再利用ハウスの移設経費 等</td> </tr> <tr> <td>補助要件</td> <td>導入するパイプハウスの面積が一定規模以上であること等</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>1/2以内</td> </tr> </table> <p>② 京野菜生産加速化支援活動事業 普及指導員等による技術指導等の伴走支援を実施</p> <p>(2) 黒大豆・小豆生産加速化事業費 11,800千円 新技術の普及や作業の機械化・省力化を支援</p>			補助対象者	3戸以上の農業者で組織する団体 等	補助対象経費	パイプハウスの新設経費及び再利用ハウスの移設経費 等	補助要件	導入するパイプハウスの面積が一定規模以上であること等	補助率	1/2以内
補助対象者	3戸以上の農業者で組織する団体 等										
補助対象経費	パイプハウスの新設経費及び再利用ハウスの移設経費 等										
補助要件	導入するパイプハウスの面積が一定規模以上であること等										
補助率	1/2以内										
担当課名	農産課 京の米・豆・保険担当 京野菜振興担当	課・担当 電話番号	075-414-4953 075-414-4944								

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 酒米生産加速化事業費																
予算額	30,000千円	新規・継続の別	一部新規														
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 酒米の安定供給に必要な施設整備等を支援し、生産拡大を強力に推進</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 京の酒米種子産地確保事業 5,000千円 種子センターの乾燥・調製機能の増強により、安定供給体制を確保 ●事業主体：農業協同組合 ●補助率：1/2以内</p> <p>(2) 京の酒米産地づくり加速化事業 25,000千円</p> <p>① 京の酒米緊急増産事業 酒米専用の省力生産機械の導入や施設増強を支援</p> <table border="1" data-bbox="400 1272 1385 1514"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>3戸以上の農業者で組織する団体 等</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>省力生産機械の導入や施設増強に要する経費</td> </tr> <tr> <td>補助要件</td> <td>5ha以上の酒米拡大作付（農作業受託含む） 等</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>4/10以内</td> </tr> </table> <p>② 「京の輝き」生産ほ場集積促進事業（平成27年度限り） 酒造業界から増産要望の高い掛米「京の輝き」について、地域ぐるみでのまとまった緊急増産（転換）を支援</p> <table border="1" data-bbox="400 1653 1385 1841"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>集落営農組織、集落型農業法人 等</td> </tr> <tr> <td>補助要件</td> <td>「京の輝き」の2ha以上の作付け及び1ha以上の団地化</td> </tr> <tr> <td>補助率等</td> <td>5,000円/10a（補助対象面積：増産面積のみ）</td> </tr> </table>			補助対象者	3戸以上の農業者で組織する団体 等	補助対象経費	省力生産機械の導入や施設増強に要する経費	補助要件	5ha以上の酒米拡大作付（農作業受託含む） 等	補助率	4/10以内	補助対象者	集落営農組織、集落型農業法人 等	補助要件	「京の輝き」の2ha以上の作付け及び1ha以上の団地化	補助率等	5,000円/10a（補助対象面積：増産面積のみ）
補助対象者	3戸以上の農業者で組織する団体 等																
補助対象経費	省力生産機械の導入や施設増強に要する経費																
補助要件	5ha以上の酒米拡大作付（農作業受託含む） 等																
補助率	4/10以内																
補助対象者	集落営農組織、集落型農業法人 等																
補助要件	「京の輝き」の2ha以上の作付け及び1ha以上の団地化																
補助率等	5,000円/10a（補助対象面積：増産面積のみ）																
担当課名	農産課 京の米・豆・保険担当	課・担当 電話番号	075-414-4953														

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 京都米特選ブランド化推進事業費														
予算額	33,300千円	新規・継続の別	新規												
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨 米価向上に向けて、特色ある京都産米の産地づくり及び1等米比率向上など消費者を意識したおいしい米づくりを支援</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 京の良食味米生産流通応援事業 25,000千円 消費者に選ばれる、良食味1等米生産の取組を支援</p> <table border="1" data-bbox="343 1019 1430 1339"> <tr> <td>区 分</td> <td>良食味1等米生産向上対策事業</td> <td>食味分析品質向上対策事業</td> </tr> <tr> <td>補助対象者</td> <td colspan="2">農業協同組合 等</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>食味と1等米比率向上に必要な乾燥調製、選別機材等の導入に要する経費</td> <td>食味値を利用した流通対策に必要な分析機器の導入に要する経費</td> </tr> <tr> <td>補 助 率</td> <td>4/10以内</td> <td>1/2以内</td> </tr> </table> <p>(2) 特別栽培米産地づくり事業 8,300千円 米価向上に向けた特色ある米づくりへの技術的取組や機械導入を支援</p> <p>① 京都米「特A」獲得推進事業 食味ランキング「特A」獲得に向けた産地拡大の取組を支援 ・補助対象者：協議会等 ・補助率：1／2以内</p> <p>② 特別栽培米低コスト生産加速化事業 化学肥料・化学合成農薬を削減した米づくりに必要な機械導入を支援 ・補助対象者：3戸以上の農業者で組織する団体、農業法人等 ・補助率：4／10以内</p>			区 分	良食味1等米生産向上対策事業	食味分析品質向上対策事業	補助対象者	農業協同組合 等		補助対象経費	食味と1等米比率向上に必要な乾燥調製、選別機材等の導入に要する経費	食味値を利用した流通対策に必要な分析機器の導入に要する経費	補 助 率	4/10以内	1/2以内
区 分	良食味1等米生産向上対策事業	食味分析品質向上対策事業													
補助対象者	農業協同組合 等														
補助対象経費	食味と1等米比率向上に必要な乾燥調製、選別機材等の導入に要する経費	食味値を利用した流通対策に必要な分析機器の導入に要する経費													
補 助 率	4/10以内	1/2以内													
担当課名	農産課 京の米・豆・保穀担当	課・担当 電話番号	075-414-4953												

平成27年度 当初予算案主要事項（平成26年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 オーダーメイド農家総合支援対策事業費			
予算額	21,800千円 (うち2月補正 5,000千円)	新規・継続の別	新規	
事業内容 (目的対象 方法等)	1 趣 旨 多様な農家のタイプに応じてきめ細やかに応える総合的な支援で、農村の支え手を確保・育成			
	2 事業概要 (単位:千円)			
	区分	主な対象者	事 項	予算額 事業の概要
	中核的・担い手の育成	農 外 企 業	農外企業農業参入支援事業	4,000 農外企業の農業参入につながる、ワンストップ相談窓口を農業総合支援センターに設置し、参入から経営の安定を支援
		専 業 農 家 予 備 軍	定年帰農者地域定着支援事業 <2月補正>	1,000 農業生産技術、営農知識習得等の講座を開催し、定年退職者等の就農を支援
			小さな経営革新チャレンジ支援事業	10,000 新技術、販路開拓などに新たにチャレンジをする専業農家に対して、普及指導員が事業計画の策定から実施までを伴走支援
	(兼業農家の維持)	兼 業 農 家	援農マッチングシステム整備事業	2,800 都市部の農業に興味のある府民などが、農繁期などに農業者を援農し、農作業の負担を軽減するためのマッチングシステムを整備
半週末農家の育成	農機具シェアシステム整備事業 <2月補正>		2,000 営農コスト軽減のための、複数の兼業農家が農機具を共同利用する農機具のレンタル費用を支援	
	週末農家・半農半農家	半農半×・週末農家育成事業 <2月補正>	2,000 指導者付き体験農園において、都市住民を対象とした農業研修講座を開催	
合 計		21,800		
担当課名	担 い 手 支 援 課 農 業 ビ ジ ネ ス 担 当 流 通 ・ ブ ラ ン ド 戦 略 課 農 業 流 通 ・ 販 売 戦 略 担 当	課・担当 電話番号	075-414-4908 075-414-4964	

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 中山間地域特産物生産応援事業費										
予算額	45,000千円	新規・継続の別	継 続								
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>収入維持・確保による農業生産活動の継続を図るため、実需者からの要望のある品目や新たな「地産地商」品目などの導入を支援</p> <p>2 事業概要</p> <p>需要に応じた地域特産物づくりの取組を、各地域のアグリネット（きょうと農業ビジネスプラットフォーム）や普及指導員等の伴走により支援</p> <table border="1" data-bbox="400 1077 1401 1615"> <tr> <td data-bbox="400 1077 612 1211">補助対象者</td> <td data-bbox="612 1077 1401 1211">地域振興5法（特定農山村・山村・過疎・半島等）の地域内にある集落</td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1211 612 1368">補助対象経費</td> <td data-bbox="612 1211 1401 1368">品目導入（産地づくり）に必要な種苗・資材等購入、技術研修、農業機械導入、販促活動や商品開発に要する経費</td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1368 612 1525">補助要件</td> <td data-bbox="612 1368 1401 1525">地域特産物生産計画の策定 〔生産者と実需者が一体となった取組の実施 集落ぐるみでの支え合いによる農業生産の継続 等〕</td> </tr> <tr> <td data-bbox="400 1525 612 1615">補助率等</td> <td data-bbox="612 1525 1401 1615">1/2以内（補助上限額：1,500千円/3箇年）</td> </tr> </table>			補助対象者	地域振興5法（特定農山村・山村・過疎・半島等）の地域内にある集落	補助対象経費	品目導入（産地づくり）に必要な種苗・資材等購入、技術研修、農業機械導入、販促活動や商品開発に要する経費	補助要件	地域特産物生産計画の策定 〔生産者と実需者が一体となった取組の実施 集落ぐるみでの支え合いによる農業生産の継続 等〕	補助率等	1/2以内（補助上限額：1,500千円/3箇年）
補助対象者	地域振興5法（特定農山村・山村・過疎・半島等）の地域内にある集落										
補助対象経費	品目導入（産地づくり）に必要な種苗・資材等購入、技術研修、農業機械導入、販促活動や商品開発に要する経費										
補助要件	地域特産物生産計画の策定 〔生産者と実需者が一体となった取組の実施 集落ぐるみでの支え合いによる農業生産の継続 等〕										
補助率等	1/2以内（補助上限額：1,500千円/3箇年）										
担当課名	農産課 京の米・豆・保険担当	課・担当 電話番号	075-414-4953								

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 農と環境を守る地域協働活動支援事業費								
予算額	1,110,000千円	新規・継続の別	継 続						
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	1 趣 旨 地域ぐるみでの地域資源の基礎的保全活動、質的向上活動や、施設の長寿命化のための活動を支援することで、農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮や、地域コミュニティの構築による地域力再生を図る。								
	2 事業概要								
	事業区分	事業内容							
	農地維持 支 払	農地法面の草刈、水路の泥上げ、農道の砂利補充等の地域資源の基礎的保全活動及び農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化、保全管理構想の作成等への支援 <table border="1" data-bbox="678 1025 1259 1205"> <tr> <td rowspan="3">支援単価</td> <td>田</td> <td>3,000円/10a</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td>2,000円/10a</td> </tr> <tr> <td>草地</td> <td>250円/10a</td> </tr> </table>		支援単価	田	3,000円/10a	畑	2,000円/10a	草地
支援単価	田	3,000円/10a							
	畑	2,000円/10a							
	草地	250円/10a							
資源向上 支 払 (共同活動)	地域資源の質的向上を図る共同活動（水路、農道、ため池の軽微な補修、農村環境保全活動の幅広い展開等）への支援 <table border="1" data-bbox="678 1375 1259 1554"> <tr> <td rowspan="3">支援単価</td> <td>田</td> <td>2,400円/10a</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td>1,440円/10a</td> </tr> <tr> <td>草地</td> <td>240円/10a</td> </tr> </table> ※農地・水保全管理支払の5年以上継続地区は7.5割単価 長寿命化に取り組む地区は7.5割単価		支援単価	田	2,400円/10a	畑	1,440円/10a	草地	240円/10a
支援単価	田	2,400円/10a							
	畑	1,440円/10a							
	草地	240円/10a							
資源向上 支 払 (長寿命化)	水路や農道などの施設の老朽化部分の補修や更新への支援 <table border="1" data-bbox="678 1767 1259 1946"> <tr> <td rowspan="3">支援単価</td> <td>田</td> <td>4,400円/10a</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td>2,000円/10a</td> </tr> <tr> <td>草地</td> <td>400円/10a</td> </tr> </table>		支援単価	田	4,400円/10a	畑	2,000円/10a	草地	400円/10a
支援単価	田	4,400円/10a							
	畑	2,000円/10a							
	草地	400円/10a							
担当課名	農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4906						

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 中山間地域等直接支払事業費																																						
予算額	575,000千円	新規・継続の別	継 続																																				
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨 耕作放棄地の増加等により国土の保全、水源のかん養等の多面的機能の低下が懸念される中山間地域等において、農業生産活動の維持を支援し、多面的機能の確保を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1)対象地域 地域振興8法（特定農山村・山村・過疎・半島等）及び知事特認地域</p> <p>(2)対象農用地 農振農用地区域内の一団の農用地（1ha以上）であって、以下の基準を満たすもの</p> <p>①急傾斜地（田1/20、畑15度以上） ②自然条件により小区画・不整形な田 ③緩傾斜地（田1/100、畑8度以上）、又は高齢化率・耕作放棄率の高い農用地で市町村長が特に必要と認めるもの</p> <p>(3)対象行為 集落協定等に基づき、5年間以上継続して行われる農業生産活動等</p> <p>(4)対象者 集落協定等に基づき、5年間以上継続して農業生産活動等を行う者</p> <p>(5)実施期間：平成27年度～31年度</p> <p>(6)交付単価 (単位：円/10a)</p> <table border="1" data-bbox="389 1339 1458 1727"> <tr> <td></td> <td style="text-align:center">急傾斜 (田1/20～、畑15度～)</td> <td style="text-align:center">緩傾斜等 (田1/100～、畑8度～)</td> </tr> <tr> <td>田</td> <td style="text-align:center">21,000</td> <td style="text-align:center">8,000</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td style="text-align:center">11,500</td> <td style="text-align:center">3,500</td> </tr> <tr> <td>※加算単価</td> <td style="text-align:center">水 田</td> <td style="text-align:center">畑</td> </tr> <tr> <td>(7)集落連携・機能維持加算</td> <td style="text-align:center">3,000</td> <td style="text-align:center">3,000</td> </tr> <tr> <td>・集落協定の広域化支援</td> <td style="text-align:center">4,500</td> <td style="text-align:center">1,800</td> </tr> <tr> <td>・小規模・高齢化集落支援加算</td> <td style="text-align:center">6,000</td> <td style="text-align:center">6,000</td> </tr> <tr> <td>(4)超急傾斜農地保全管理加算</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ただし、農業生産活動等の体制整備として取り組むべき事項を実施しない場合には、上記単価に0.8を乗じた額とする。</p> <p>(7)実施主体：農業者の組織する団体</p> <p>(8)負担区分</p> <table border="1" data-bbox="389 1805 1177 1910"> <tr> <td></td> <td style="text-align:center">国</td> <td style="text-align:center">府</td> <td style="text-align:center">市町村</td> </tr> <tr> <td>8法地域</td> <td style="text-align:center">1/2</td> <td style="text-align:center">1/4</td> <td style="text-align:center">1/4</td> </tr> <tr> <td>特 認</td> <td style="text-align:center">1/3</td> <td style="text-align:center">1/3</td> <td style="text-align:center">1/3</td> </tr> </table> <p>(9)平成27年度対象見込面積 5,300ha</p>				急傾斜 (田1/20～、畑15度～)	緩傾斜等 (田1/100～、畑8度～)	田	21,000	8,000	畑	11,500	3,500	※加算単価	水 田	畑	(7)集落連携・機能維持加算	3,000	3,000	・集落協定の広域化支援	4,500	1,800	・小規模・高齢化集落支援加算	6,000	6,000	(4)超急傾斜農地保全管理加算				国	府	市町村	8法地域	1/2	1/4	1/4	特 認	1/3	1/3	1/3
	急傾斜 (田1/20～、畑15度～)	緩傾斜等 (田1/100～、畑8度～)																																					
田	21,000	8,000																																					
畑	11,500	3,500																																					
※加算単価	水 田	畑																																					
(7)集落連携・機能維持加算	3,000	3,000																																					
・集落協定の広域化支援	4,500	1,800																																					
・小規模・高齢化集落支援加算	6,000	6,000																																					
(4)超急傾斜農地保全管理加算																																							
	国	府	市町村																																				
8法地域	1/2	1/4	1/4																																				
特 認	1/3	1/3	1/3																																				
担当課名	農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4906																																				

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 ブランド京野菜需要開拓事業費		
予算額	97,510千円 (うち2月補正 9,000千円)	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 メディア等の発信力が高い首都圏における需要拡大策と府内におけるきめ細やかな消費拡大策を両輪とした京野菜等の販売戦略を実施</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 首都圏での京野菜等の新マーケットの開拓 64,600千円</p> <p>①首都圏流通体制の再構築 (うち2月補正 7,000千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豊洲新市場に向けたコールドチェーンの確立のための流通拠点の整備等 ・首都圏で料飲店や業務向けの新たな需要開拓を戦略的に推進 <p>②京野菜等の販売力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京野菜フェアや京野菜マルシェの開催 ・「ほんまもん京野菜取扱店」や「旬の京野菜提供店」の拡大 ・「宇治茶カフェ」等宇治茶PR拠点の設置 <p>③食材マーケット開拓員の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏における6次産業化や京野菜等の需要拡大を戦略的に推進する人材を配置 <p>(2) 府内における京野菜等の魅力発信、消費拡大 27,910千円</p> <p>① 京野菜ファン・消費の拡大 (うち2月補正 2,000千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「京の食文化ミュージアム・あじわい館」を拠点とした府内産農林水産物の魅力発信 ・農林水産フェスティバル、京野菜フェスティバルの開催等による消費拡大 <p>② 丹後水産物の流通・拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹後産水産物の知名度向上と消費拡大 <p>(3) 次代を担うブランド品目の育成と認証体制の整備 5,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次代を担うブランド品目の育成等によるブランド力の維持・強化 		
担当課名	流通・ブランド戦略課 ブランド推進担当	課・担当 電話番号	075-414-4941

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 京都6次産業プロジェクト戦略事業費																																
予算額	73,400千円	新規・継続の別	一部新規																														
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 趣 旨 産地と食品関連企業が連携した新商品開発や「学ぶ・食べる・買う」の機能をもつ「京野菜ランド」の販売力強化など農林水産業の6次産業化の取組を支援</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) プロジェクト活動支援費 (22,200千円) 食品関連企業と農林漁業者で構成するプロジェクトの取組を、府職員による活動チームの伴走や加工技術、マーケティング等の専門家派遣により支援</p> <table border="1" data-bbox="403 896 1401 1216"> <tr> <td>補助対象者</td> <td colspan="2">食品関連企業と農林漁業者で構成するプロジェクト</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td colspan="2">商品開発に必要な試作のための原材料費、加工品開発用機器のリース、分析・検査委託等に要する経費</td> </tr> <tr> <td>補助要件</td> <td colspan="2">〔 京都6次産業プロジェクト計画の策定 企業と産地が一体となった取組の実施 府内産農林水産物の新たな需要拡大の取組 等 〕</td> </tr> <tr> <td>補助率等</td> <td colspan="2">1/3 (補助上限額：2,500千円/3年)</td> </tr> </table> <p>(2) 条件整備支援事業費 (37,000千円)</p> <table border="1" data-bbox="403 1272 1401 1467"> <tr> <td>補助対象者</td> <td>農林漁業者</td> <td>食品関連企業(中小企業)</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td>一次処理施設等の整備</td> <td>加工製造施設等の整備</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td>1/2 など (国庫補助率に準拠)</td> <td>3/10 (補助上限額：10,000千円)</td> </tr> </table> <p>(3) 京野菜ランド拡大・強化事業費 (10,000千円) 「学ぶ、食べる、買う」の機能をもつ「京野菜ランド」の拡大と機能強化を支援</p> <table border="1" data-bbox="403 1585 1401 1780"> <tr> <td>補助対象者</td> <td colspan="2">京野菜ランドへの登録を目指す直売所 等</td> </tr> <tr> <td>補助対象経費</td> <td colspan="2">農作業体験・調理体験プログラム開発、イトイコーナーの整備、POSシステム導入、販促イベント等に要する経費</td> </tr> <tr> <td>補助率</td> <td colspan="2">1/2 (補助上限額：2,000千円)</td> </tr> </table> <p>(4) 農林水産ブランド戦略事業費 (4,200千円) 京都産サワラ等について、鮮度保持輸送や差別化によりブランド化を推進するとともに、京都産和牛の輸出に向けた海外調査や商標登録を実施</p>			補助対象者	食品関連企業と農林漁業者で構成するプロジェクト		補助対象経費	商品開発に必要な試作のための原材料費、加工品開発用機器のリース、分析・検査委託等に要する経費		補助要件	〔 京都6次産業プロジェクト計画の策定 企業と産地が一体となった取組の実施 府内産農林水産物の新たな需要拡大の取組 等 〕		補助率等	1/3 (補助上限額：2,500千円/3年)		補助対象者	農林漁業者	食品関連企業(中小企業)	補助対象経費	一次処理施設等の整備	加工製造施設等の整備	補助率	1/2 など (国庫補助率に準拠)	3/10 (補助上限額：10,000千円)	補助対象者	京野菜ランドへの登録を目指す直売所 等		補助対象経費	農作業体験・調理体験プログラム開発、イトイコーナーの整備、POSシステム導入、販促イベント等に要する経費		補助率	1/2 (補助上限額：2,000千円)	
補助対象者	食品関連企業と農林漁業者で構成するプロジェクト																																
補助対象経費	商品開発に必要な試作のための原材料費、加工品開発用機器のリース、分析・検査委託等に要する経費																																
補助要件	〔 京都6次産業プロジェクト計画の策定 企業と産地が一体となった取組の実施 府内産農林水産物の新たな需要拡大の取組 等 〕																																
補助率等	1/3 (補助上限額：2,500千円/3年)																																
補助対象者	農林漁業者	食品関連企業(中小企業)																															
補助対象経費	一次処理施設等の整備	加工製造施設等の整備																															
補助率	1/2 など (国庫補助率に準拠)	3/10 (補助上限額：10,000千円)																															
補助対象者	京野菜ランドへの登録を目指す直売所 等																																
補助対象経費	農作業体験・調理体験プログラム開発、イトイコーナーの整備、POSシステム導入、販促イベント等に要する経費																																
補助率	1/2 (補助上限額：2,000千円)																																
担当課名	食の安心・安全推進課 流通・ブランド戦略課 畜産課 水産課	食育・地産地消担当 農業流通・販売戦略担当 畜産振興担当 漁政企画担当	課・担当 電話番号 075-414-5656 075-414-4964 075-414-4983 075-414-4992																														

農 林 水 産 部

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 丹後10次産業化拠点づくり事業費		
予算額	110,000千円 (うち2月補正 100,000千円)	新規・継続の別	継 続
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 趣 旨 丹後あじわいの郷を、丹後の本物の食を味わう拠点、丹後食材を使ったオリジナル特産品開発（6次産業）や「食」に関わる人材育成（4次産業）を行う10次産業化拠点、丹後地域の観光拠点とするために必要な施設整備等を実施</p> <p>2 事業概要 (1) 丹後の本物の食を味わう拠点づくり <2月補正 2,000千円> 丹後産の水産物、茶、コシヒカリ等地域食材を生かした加工品やメニュー、新商品開発・販売を実施 (2) 10次産業化拠点づくり <2月補正 7,100千円> 農林水産業者に対する加工、販売や観光農業、調理などの実践研修を実施 (3) 丹後地域の観光拠点づくり <2月補正 90,900千円> ① 観光案内デスクや無線公衆LANの設置による丹後地域の総合観光機能の整備 ② 農林漁業体験のための体験農園、牧舎等の整備</p>		
担当課名	農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4906

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 京の伝統野菜復活支援事業費		
予算額	5,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 生産現場から姿を消した、消えつつある「京の伝統野菜」の復活に向けた取組を「京の伝統野菜復活プロジェクト」を立ち上げ実施</p> <p>※ 京の伝統野菜：明治以前から府内で栽培されていた野菜（37品目）</p> <p>2 事業概要</p> <p>（1）京の伝統野菜の再評価・検証 2,000千円 「京の伝統野菜復活プロジェクト」を立ち上げ、栽培特性、食味、物語性などの見地から復活を目指す品目を選定</p> <p>※ 京の伝統野菜復活プロジェクト：生産者、試験研究機関、旬の京野菜提供店、京のふるさと産品協会等で構成</p> <p>※ 想定品目：京水芹（きょうみずせり）、桃山大根、畑菜（はたけな）、大内蕪（おおうちかぶ） など</p> <p>（2）京の伝統野菜の活用・PR 2,000千円 選定品目について、新メニューの開発や試食会などを実施し、京の伝統野菜の存在を広く府民にPR</p> <p>（3）栽培技術確立・種子増産 1,000千円 選定品目の安定供給に向けた生産技術の向上と種子の確保・増産</p>		
担当課名	流通・ブランド戦略課 研究普及担当 農 産 課 京野菜振興担当	課・担当 電話番号	075-414-4968 075-414-4944

平成27年度 当初予算案主要事項（平成26年度2月補正含む）説明
農 林 水 産 部

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 中核新規就農者倍增事業費		
予算額	470,497千円 (うち2月補正 160,000千円)	新規・継続の別	継 続
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 趣 旨 農業の新たな担い手の確保を図るため、就農・就業希望者の相談から技術習得、地域定着までをワンストップで支援し、円滑な新規就農・就業を促進</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 農林水産業ジョブカフェ事業 農林水産業への新規就業等相談の総合窓口「農林水産業ジョブカフェ」の設置・運営及び就農・就業希望者に対する農業体験研修や就農・就業相談会等の実施</p> <p>(2) 担い手づくりサポートセンター事業 農業法人等の「就農サポーター」による実地研修を実施</p> <p>(3) 担い手養成実践農場事業 地域における「技術習得」から「就農」までを一貫して支援 (支援内容) ・ 地域とのマッチング及び農地の確保 ・ 技術指導者の設置、農地の借上、農地の簡易整備、住宅改修、研修用農機・施設の借上等経費の支援 ・ 農村生活についての助言等を行う担い手づくり後見人の設置</p> <p>(4) 新規就農者確保事業 <2月補正 160,000千円> 青年が行う就農前の研修期間(2年以内)及び経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保する給付金(最大150万円/年)を交付 ①就農準備型給付金：先進農家等で研修を受ける45歳未満の青年 ②経営開始型給付金：市町村の「京力農場プラン」に位置付けられている(位置付けられると見込まれる者を含む。)、又は農地中間管理機構から農地を借り受けている45歳未満の独立・自営就農者</p> <p>(5) 農業後継者定着促進事業 就農研修資金の償還に対する助成</p>		
担当課名	担い手支援課 新規就業・金融担当	課・担当 電話番号	075-414-4902

農 林 水 産 部

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 農業経営実践型学舎事業費		
予算額	68,690千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨 丹後国営開発農地のスケールメリットを活かした大規模野菜作を 実践できる担い手の育成・確保及びブランド京野菜の一大産地の形 成を推進</p> <p>2 事業概要 (1) 丹後農業実践型学舎 丹後国営開発農地において、担い手養成実践農場の仕組みを活用 し、大規模営農技術や加工・流通・販売の総合的な実践研修を実施 ○整備内容：研修用農地の借上・土壌改良、農業機械の整備 等</p> <p>※丹後農業実践型学舎の概要 対 象 者：概ね40歳未満の若手農業者（10人／年） （農業法人就業者等で、大規模農業経営を目指す農業者） 研修品目：九条ねぎ，短形ごぼう(ごぼ丹)，みず菜 等</p> <p>(2) 京都府若手農業経営者アカデミー 全国トップクラスの農業経営者等を講師陣に迎え、農業経営力を身 に付けることができる「京都府若手農業経営者アカデミー」を農業大 学校で実施</p>		
担当課名	担い手支援課 新規就業・金融担当	課・担当 電話番号	075-414-4902

<p>事業名</p>	<p>京力農業・農村総合対策事業費 明日の「京都村」づくり事業費</p>		
<p>予算額</p>	<p>40,000千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>継続</p>
<p>事業内容 〔目的 対象 方法等〕</p>	<p>1 趣 旨 地域ぐるみで意欲的に農山漁村ビジネスや集落維持・発展活動に取り組む農山漁村集落を支援することで、地域の活力と生活満足度の維持・向上を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業主体： 集落連携体等 ○ 事業費： 1地区当たり20,000千円／3箇年 ○ 補助率： 1／2 ○ 事業内容： 美しい農山漁村景観や地域特有の食・生活文化等の地域資源を生かした、地域ぐるみの農山漁村ビジネス（一村一業）の取組を総合的に支援 <p>〔支援の対象となる取組〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域資源を生かした活動・交流拠点施設の整備 （例）農村・漁村レストラン、農家民宿、加工施設、体験交流施設 ○地域特産物の商品化や農漁業体験などの推進 ○景観に配慮した農業生産基盤の整備 （例）石積水路など美しい景観と調和した農道・水路等 		
<p>担当課名</p>	<p>農村振興課 地域活性化担当</p>	<p>課・担当 電話番号</p>	<p>075-414-4906</p>

平成27年度 当初予算案主要事項(平成26年度2月補正含む)説明

農 林 水 産 部

<p>事業名</p>	<p>京力農業・農村総合対策事業費 明日のむら人移住促進事業費</p>		
<p>予算額</p>	<p>64,800千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>継 続</p>
<p>事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕</p>	<p>1 趣 旨 農山漁村地域の新たな担い手の確保のため、都市部の若年層を中心とした外部人材の移住を促進し、地域再生を加速させる取組を支援</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 移住促進対策（市町村） 45,500千円 市町村が行う以下の取組を総合的に支援（府1/2、市町村1/2）</p> <p>① 移住者受入体制強化 移住者受入を進める地域連携組織等による受入体制づくり 空き家調査、移住希望者との面接、アドバイザー（宅建資格者等）の活用 等</p> <p>② 移住促進住宅整備 空き家を改修した移住促進住宅の整備 ※ 市町村が空き家の改修に要した経費の1/2を支援 （補助対象事業費：上限 1,800千円/戸）</p> <p>③ 空き家流動化対策 空き家を移住者に売却・賃貸するために必要な家財の撤去 等</p> <p>(2) 移住相談体制強化（京都府） 19,300千円</p> <p>① 移住相談窓口の設置 農山村地域への移住相談窓口を京都市内及び大阪市内に設置</p> <p>② 京都移住コンシェルジュの配置 「移住相談」から「現地案内」・「地域定着」までの伴走支援を行う総合案内人「京都移住コンシェルジュ」を配置 実施内容：大阪市内の移住相談窓口における相談対応・情報提供 移住希望者の現地案内、地域でのネットワークづくり 移住セミナーや移住ツアー等のイベントの開催 等</p>		
<p>担当課名</p>	<p>農村振興課 地域活性化担当</p>	<p>課・担当 電話番号</p>	<p>075-414-4906</p>

事業名	京力農業・農村総合対策事業費 共に育む「命の里」新展開事業費		
予算額	124,600千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 過疎化・高齢化の進む農山村地域において、里の人づくりや基礎づくりに資する事業を総合的に実施し、安全な食料や水、空気の供給など府民生活を支える「命の里」としての維持・再生を図る。</p> <p>2 事業概要 地域の抱える多様な課題を解決するためにソフト・ハード一体の総合的施策により地域の再生と持続的発展を支援</p> <p>【再生支援】 （1）里の人づくり 複数集落の連携や集落とNPO等多様な主体が連携した組織の育成及び活動支援、行政（里の仕事人）や民間人材（里の仕掛人）の派遣等を実施 ・ 里の人づくり事業費 29,000千円</p> <p>（2）里の基礎づくり 住民協働による生活道路や農業用施設等の整備・保全、地域が自ら考え実践する地域課題解決の事業の実施等を支援 ・ 里の基盤整備事業費 77,500千円 ・ 里の地域活力再生事業費 15,000千円</p> <p>【自立支援】 企業及び個人からの寄付や支援等による民間資金を活用した農山村地域の再生活動の持続と行政支援からの自立を促進 ・ 命の里ビジネス推進事業費 3,100千円</p>		
担当課名	農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4906

平成27年度 当初予算案主要事項(平成26年度2月補正含む)説明

農 林 水 産 部

事業名	共に育む「命の里」新展開事業費 里の人づくり事業費		
予算額	29,000千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>過疎化・高齢化集落を含む農山村地域の複数集落による連携組織の設立や地域の実情に応じた里力再生計画の策定、再生計画に基づく活動を地域と協働しながら支援することで、地域の絆や知恵を出し合い課題解決に取り組む力である「里力」を再生し、過疎化・高齢化の進む農山村地域の再生を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 地域連携組織設立活動支援事業</p> <p>地域連携組織等の運営・活動に要する経費に対し補助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里力再生計画づくりや各種事業の調整、実施など地域連携組織の運営 ・地域資源の活用に向けた調査・検討 ・地域連携組織の中心となって調整等を行う里力再生推進員の設置 等 <p>○事業主体：地域連携組織</p> <p>○補助率：府 1/2、市町村等 1/2</p> <p>(2) 人材支援事業</p> <p>①「里の仕事人(府職員)」の配置・活動</p> <p>地域連携組織等の運営や事務処理等を支援する「里の仕事人」の配置・活動</p> <p>②「里の仕掛人(民間人材)」の配置・活動</p> <p>地域のマネジメントや外部企業等とのネットワークの形成、生活サポート・地域おこしや社会的起業を行う「里の仕掛人」の配置・活動</p> <p>※ 新たに、3年間で10地区をターゲットに「里の仕事人」が地域に入り、集落連携の体制づくりを伴走支援</p>		
担当課名	農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4906

事業名	共に育む「命の里」新展開事業費 里の基盤整備事業費														
予算額	77,500千円	新規・継続の別	継 続												
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨 後継者不足や農林地の荒廃など厳しい状況にある農山村地域において、生活環境基盤や農業生産基盤、営農基盤を維持保全するために複数集落が連携・協力して取り組む活動等を支援することで、農山村地域の再生を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <table border="1" data-bbox="370 898 1444 1915"> <thead> <tr> <th data-bbox="370 898 507 974">区分</th> <th data-bbox="507 898 1264 974">事業内容</th> <th data-bbox="1264 898 1444 974">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="370 974 507 1290">生活環境 基 盤</td> <td data-bbox="507 974 1264 1290">未整備や劣化、狭小や見通し不良など、日常的な利用に支障を来している生活道路や生活用排水路の補修など、生活環境基盤の整備に要する経費を補助 【実施主体】市町村、地域連携組織等 【補助率】2/3以内 【対 象】集落内の生活道路や生活用排水路等の補修、転落防止柵や街灯の設置など</td> <td data-bbox="1264 974 1444 1290">千円 50,000</td> </tr> <tr> <td data-bbox="370 1290 507 1621">農業生産 基 盤</td> <td data-bbox="507 1290 1264 1621">劣化等により機能が低下している農道や農業用水路の補修など、農業生産基盤の総合的・一体的な整備に要する経費を補助 【実施主体】市町村、土地改良区等 【補助率】2/3以内 【対 象】農道、農業用水路の補修、法面補修、暗渠排水、客土、鳥獣害防止柵設置、ため池応急補修、転落防止柵設置など</td> <td data-bbox="1264 1290 1444 1621">千円 21,000</td> </tr> <tr> <td data-bbox="370 1621 507 1915">営農基盤</td> <td data-bbox="507 1621 1264 1915">複数の集落単位で地域農業を互いに支え合う広域的な営農体制を構築するために必要な施設・機械の整備に要する経費を補助 【実施主体】集落営農組織等 【補助率】1/2以内 【対 象】農業用機械・施設、農産物販売・加工用機械・施設、新規参入者住宅の改修など</td> <td data-bbox="1264 1621 1444 1915">千円 6,500</td> </tr> </tbody> </table>			区分	事業内容	予算額	生活環境 基 盤	未整備や劣化、狭小や見通し不良など、日常的な利用に支障を来している生活道路や生活用排水路の補修など、生活環境基盤の整備に要する経費を補助 【実施主体】市町村、地域連携組織等 【補助率】2/3以内 【対 象】集落内の生活道路や生活用排水路等の補修、転落防止柵や街灯の設置など	千円 50,000	農業生産 基 盤	劣化等により機能が低下している農道や農業用水路の補修など、農業生産基盤の総合的・一体的な整備に要する経費を補助 【実施主体】市町村、土地改良区等 【補助率】2/3以内 【対 象】農道、農業用水路の補修、法面補修、暗渠排水、客土、鳥獣害防止柵設置、ため池応急補修、転落防止柵設置など	千円 21,000	営農基盤	複数の集落単位で地域農業を互いに支え合う広域的な営農体制を構築するために必要な施設・機械の整備に要する経費を補助 【実施主体】集落営農組織等 【補助率】1/2以内 【対 象】農業用機械・施設、農産物販売・加工用機械・施設、新規参入者住宅の改修など	千円 6,500
区分	事業内容	予算額													
生活環境 基 盤	未整備や劣化、狭小や見通し不良など、日常的な利用に支障を来している生活道路や生活用排水路の補修など、生活環境基盤の整備に要する経費を補助 【実施主体】市町村、地域連携組織等 【補助率】2/3以内 【対 象】集落内の生活道路や生活用排水路等の補修、転落防止柵や街灯の設置など	千円 50,000													
農業生産 基 盤	劣化等により機能が低下している農道や農業用水路の補修など、農業生産基盤の総合的・一体的な整備に要する経費を補助 【実施主体】市町村、土地改良区等 【補助率】2/3以内 【対 象】農道、農業用水路の補修、法面補修、暗渠排水、客土、鳥獣害防止柵設置、ため池応急補修、転落防止柵設置など	千円 21,000													
営農基盤	複数の集落単位で地域農業を互いに支え合う広域的な営農体制を構築するために必要な施設・機械の整備に要する経費を補助 【実施主体】集落営農組織等 【補助率】1/2以内 【対 象】農業用機械・施設、農産物販売・加工用機械・施設、新規参入者住宅の改修など	千円 6,500													
担当課名	農村振興課 地域活性化, 計画基盤担当 担い手支援課 農業ビジネス担当	課・担当 電話番号	075-414-4906, 5048 075-414-4908												

<p>事業名</p>	<p>共に育む「命の里」新展開事業費 里の地域活力再生事業費</p>		
<p>予算額</p>	<p>15,000千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>継 続</p>
<p>事業内容</p> <p>（ 目 的 対 象 方法等 ）</p>	<p>1 趣 旨 複数集落が連携して再生活動に取り組む「地域連携組織」が自らが考え実践する地域課題解決の取組を支援し、過疎化・高齢化の進む農山村地域が抱える多様な課題の解決を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 地域が自ら考え実践する地域課題解決の取組支援 地域が自ら運営する生活交通事業や地域ぐるみの高齢者見守り、巡回健康相談の実施など、地域が自ら考え実践する地域課題を解決するための事業の実施に要する経費を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業主体 地域連携組織等 ○ 補助率 2/3以内 ○ 事業内容（想定事業） 廃校を活用し、活性化に資する施設の設置 生活交通（地域自主運行デマンド交通システムの導入等） 等 <p>(2) 外部支援者パワーアップ活動 都市地域の大学生等が多様な地域再生につながるプロジェクトを提案し、地域と協働して実践する活動を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業主体 外部支援者（都市地域の大学生等）と地域が組織する団体 ○ 補助率 2/3以内 <p>(3) 若手・女性グループチャレンジ支援 自由な発想による集落の持続可能な取組へのきっかけづくりのため、地域連携組織の若手・女性グループが実践する取組を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業主体 地域連携組織の若手・女性グループ ○ 補助率 定額補助（1組織20万円以内） 		
<p>担当課名</p>	<p>農村振興課 地域活性化担当</p>	<p>課・担当 電話番号</p>	<p>075-414-4906</p>

平成27年度 当初予算案主要事項(平成26年度2月補正含む)説明

農 林 水 産 部

<p>事 業 名</p>	<p>京力農業・農村総合対策事業費 「命の里」京都農村再生事業費</p>		
<p>予 算 額</p>	<p>16,000千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>継 続</p>
<p>事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕</p>	<p>1 趣 旨</p> <p>京都農村再生運動を推進するため、過疎地域に居住し、地域の維持・発展をサポートする「里の公共員」を配置</p> <p>2 事業概要</p> <p>地域ニーズの把握や行政等との調整、地域・仕事おこし活動全般を担う人材「里の公共員」を配置し、複数集落（概ね小学校区単位）で構成される広域的な地域連携組織が行う農村再生活動を支援</p> <p>※ 府が公募の上、直接採用（非常勤職員）し、現地に配置</p>		
<p>担当課名</p>	<p>農村振興課 地域活性化担当</p>	<p>課・担当 電話番号</p>	<p>075-414-4906</p>

平成27年度 当初予算案主要事項（平成26年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	京 都 次 世 代 育 成 学 舎 事 業 費		
予算額	75,110千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨 農林水産業の各分野の連携の下、府内の高等教育機関や試験研究機関等が一体となった次代の担い手を育成する仕組みを創設</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 農業経営実践型学舎事業費 68,690千円 丹後国営開発農地において、担い手養成実践農場の仕組みを活用し、大規模営農技術や加工・流通・販売の総合的な実践研修を実施</p> <p>(2) 畜産経営継承支援事業費 1,200千円 担い手の高齢化や飼料価格が高騰する中、初期投資の大きい酪農の経営継承を推進するため、新規就農者に対し、実践的な技術・経営研修を実施</p> <p>(3) 「林業の星」育成事業費 1,320千円 スキルアップを目指す意欲ある若い林業の担い手について、習得・体得した林業技術や知識等を客観的に評価する技能検定を実施</p> <p>(4) 海の民学舎事業費 3,900千円 新規就業希望者に対し、実践的な講義・実習を実施するとともに、漁村定着を支援</p>		
担当課名	担い手支援課 新規就業・金融担当 畜産課 畜産振興担当 水産課 漁政企画担当 モデルフォレスト推進課 推進担当	課・担当 電話番号	075-414-4902 075-414-4983 075-414-4992 075-414-5006

事業名	健康京野菜研究開発事業費		
予算額	6,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>京野菜の「発がん予防効果」等を医学的に検証するとともに、「健康京野菜」食品の商品化・販売を促進し、新たな京野菜需要を創出</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 京野菜の「発がん予防効果」等を医学的に検証 5,000千円</p> <p>医学系研究機関と連携し、京野菜の「発がん予防効果」等について、医学的に検証し、京野菜の価値をさらに向上</p> <p>(2) 「健康京野菜」食品の開発・商品化・販売の促進 1,000千円</p> <p>府、食品企業、大学、消費者等で構成する京野菜機能性活用推進連絡会による「健康京野菜」食品の開発普及を実施</p> <p>①様々な食品加工に応用できる一次加工素材を試作し、「健康京野菜」食品の開発を加速</p> <p>②京野菜の健康増進効果やアンチエイジング効果を全国に発信</p>		
担当課名	流通・ブランド戦略課	ブランド推進担当	課・担当 電話番号 075-414-4941

健康福祉部
農林水産部

事業名	きょうと「食の安心・安全」確保事業費		
予算額	32,583千円	新規・継続の別	継続
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨 多発する食品偽装や残留農薬等、府民の食への不安が高まる中、関係部局が連携し、食品表示の適正化、食品衛生監視指導等を強化することにより、府民の食への信頼の回復を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食品表示パトロール（1,630千円） 産地偽装など食品表示に関する事件が多発する中、関係職員（農林水産・健康福祉・府民生活）が合同巡回調査を実施することにより、違反事実に効率的かつ迅速に対応し、食の安心・安全を確保する。 ○ 食品衛生監視指導（16,890千円） 食品衛生推進員「京の食“安全見はり番”」等による自主衛生管理の推進、食品衛生監視機動班による事業者への監視・指導の実施や食品等の放射性物質、残留農薬、アレルギー物質、添加物等の検査体制を充実し、食の安心・安全を確保する。 ○ 食品検査（4,472千円） 府内に流通している食品等の検査を行い、その結果を定期的に公表することにより食の安心・安全を確保する。 ○ 遺伝子組換え食品検査（4,885千円） DNA検査機器により遺伝子組換え食品の分析を実施し、表示内容の検査を行うことにより、食の安心・安全を確保する。 ○ 拠点保健所業務管理基準（GLP）導入（4,706千円） GLP（業務管理基準）の導入により、精度管理体制の構築、検証体制の整備を図り、検査の信頼性を確保する。 		
担当課名	生活衛生課 食の安心・安全推進課	食品衛生担当 食の安全担当	課・担当 電話番号 075-414-4773 075-414-5654

平成27年度 当初予算案主要事項（平成26年度2月補正含む）説明

商工労働観光部
農林水産部

事業名	丹後・食の王国構想セカンドステージ推進事業費		
予算額	8,500千円	新規・継続の別	継続
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣 旨 丹後地域の持つ良質で豊かな地域資源である「食」をテーマに、丹後あじわいの郷を核として、「食関連産業」が 地域経済を牽引する新たな産業として成長するとともに、丹後の食を味わうために多くの人々が丹後を訪れることを目指す「丹後・食の王国構想」の実現を図る。</p> <p>2 事業内容 （1）食関連産業の創出と拡大 ①丹後・がんばる事業者連携プロジェクト事業 ・「地域連携組織」による取組を通じ、スケールメリットを活かした商談・PRを実施 ②丹後の食材売り込み促進プロジェクト事業 ・京阪神、中京圏等をターゲットに、丹後食材の売込みを実施するとともに観光業者との連携による丹後食材を活用した観光誘客の促進 （2）丹後「食」の10次産業化の展開 ①学生レストラン推進強化事業 ・高校生等による「1 day レストラン」等を開催 ②丹後・食の王国構想拠点化推進事業 ・構想全体の企画や関係団体等との調整を図る「『丹後・食の王国』推進強化員」を設置</p>		
担当課名	産業労働総務課 企画・地域戦略担当 農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4819 075-414-4906

平成27年度 当初予算案主要事項（平成26年度2月補正含む）説明

商工労働観光部
農林水産部

事業名	みやこ構想セカンドステージ加速化推進事業費		
予算額	212,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 趣 旨 みやこ構想セカンドステージの加速化に向け、みやこ構想を推進する 中小企業者の設備投資や農林漁業者の施設整備を促進		
	2 事業内容		
		ものづくり系7構想	都市農村交流系4構想
	対象者	製造業、情報通信業者	農林漁業者
	対象事業	生産、研究開発のための設備	農家民宿・レストラン等の開設のための設備
	補助率等	15%（中堅企業は10%） 上限 30,000千円 下限 1,000千円	1/2以内 上限 3,000千円
対象となる構 想	<ul style="list-style-type: none"> ・丹後・食の王国構想 ・北京都ものづくり拠点構想 ・新京都伝統工芸ビレッジ構想 ・京都クロスメディアパーク構想 ・知恵産業首都構想 ・学術研究・未来の都構想 ・環境・アグリバイオ構想 	<ul style="list-style-type: none"> ・丹後・食の王国構想 ・由良川里山回廊構想 ・京都丹波「食と森の交流の都」構想 ・宇治茶の郷づくり構想 	
担当課名	ものづくり振興課 中小企業育成担当 農村振興課 企画管理担当	課・担当 電話番号	075-414-4851 075-414-5036

平成27年度 当初予算案主要事項（平成26年度2月補正含む）説明

府民生活部
農林水産部

事業名	「公共員」配置推進費																				
予算額	23,970千円	新規・継続の別	継続																		
事業内容	<p>1 趣旨 地域に居住し、地域課題解決のための公共的役割を担う「公共員」を配置</p> <p>2 事業概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>まちの公共員</th> <th>里の公共員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目的</td> <td>特定の地域課題に対し、地域に定着して多様な主体との協働関係をつくり、社会システムとしての解決策の創出と推進をマネジメント</td> <td>地域に居住し、じっくりと長期的に地域の維持・発展をサポートする人材を配置し、京都農村再生運動を推進</td> </tr> <tr> <td>実施手法</td> <td colspan="2">府が公募の上、直接雇用（非常勤職員）し、現地に配置</td> </tr> <tr> <td>配置期間</td> <td colspan="2">3年から5年程度を想定</td> </tr> <tr> <td>配置数</td> <td>3名</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>業務内容（例）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ワークショップの開催 目標・行動計画・グループづくりのための委員会の開催 地域の人材、資源等を組み合わせた協働事業の実施 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力ある資源の活用 農林水産業等地場産業の振興 高齢者の見守り等地域住民の生活支援 <p>など</p> </td> </tr> </tbody> </table>				まちの公共員	里の公共員	目的	特定の地域課題に対し、地域に定着して多様な主体との協働関係をつくり、社会システムとしての解決策の創出と推進をマネジメント	地域に居住し、じっくりと長期的に地域の維持・発展をサポートする人材を配置し、京都農村再生運動を推進	実施手法	府が公募の上、直接雇用（非常勤職員）し、現地に配置		配置期間	3年から5年程度を想定		配置数	3名	8名	業務内容（例）	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップの開催 目標・行動計画・グループづくりのための委員会の開催 地域の人材、資源等を組み合わせた協働事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力ある資源の活用 農林水産業等地場産業の振興 高齢者の見守り等地域住民の生活支援 <p>など</p>
	まちの公共員	里の公共員																			
目的	特定の地域課題に対し、地域に定着して多様な主体との協働関係をつくり、社会システムとしての解決策の創出と推進をマネジメント	地域に居住し、じっくりと長期的に地域の維持・発展をサポートする人材を配置し、京都農村再生運動を推進																			
実施手法	府が公募の上、直接雇用（非常勤職員）し、現地に配置																				
配置期間	3年から5年程度を想定																				
配置数	3名	8名																			
業務内容（例）	<ul style="list-style-type: none"> ワークショップの開催 目標・行動計画・グループづくりのための委員会の開催 地域の人材、資源等を組み合わせた協働事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の魅力ある資源の活用 農林水産業等地場産業の振興 高齢者の見守り等地域住民の生活支援 <p>など</p>																			
（目的） （対象） （方法等）																					
担当課名	府民力推進課 地域力再生担当 農村振興課 地域活性化担当	課・担当 電話番号	075-414-4452 075-414-4906																		

農 林 水 産 部

事業名	京都モデルファーム推進事業費		
予算額	6,300千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>高齢化等により集落内での活用が困難な耕作放棄地と農業の多面的機能に着目した社会貢献活動等を指向する企業やNPO法人をマッチングすることにより、多様な主体が地域と協働して取り組む農地の保全活動を支援し、農地の有効活用を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 農業会議実施事業 京都府農業会議に「モデルファーム推進員」を設置し、企業・NPO法人等からの農地相談対応や受入集落の掘り起こし、集落内合意形成などを支援</p> <p>(2) 市町村農業委員会実施事業 市町村農業委員会に相談員を設置し、受入集落からの相談対応や集落と企業・NPO法人等とのマッチングなどを支援</p>		
担当課名	担い手支援課 農地担当	課・担当 電話番号	075-414-4910

事業名	農業者経営復興特別支援事業費		
予算額	33,264千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	1 趣 旨 平成25年台風18号に続き、平成26年8月豪雨により被災した就農後概ね10年以下の農業者に対し、営農の継続を支援		
	2 事業概要		
		現地での営農継続	新規に確保した農地での営農継続
	農業者経営継続支援事業費 〔 営農継続に必要な資金の貸付け 〕	・貸付限度額：240万円（120万円／年） ・貸付利率：無利子 ・貸付後、5年以上営農を継続した場合、償還助成（2／3）を実施	
	農業者施設整備支援事業費 〔 営農継続に必要な施設整備への補助 〕	対象経費 ・パイプハウス整備費 補助率 1／2	対象経費 ・パイプハウス整備費 ・農地整備費 ・農地借地料 補助率 1／2
担当課名	担い手支援課 新規就業・金融担当	課・担当 電話番号	075-414-4902

平成27年度 当初予算案主要事項（平成26年度2月補正含む）説明
 商工労働観光部
 農林水産部

事業名	「京もの祭」開催事業費＜2月補正＞		
予算額	52,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 商工業者・農林水産業者等が出店する物産展を府内各地で開催し、消費を喚起</p> <p>2 事業概要 (1) 商工祭開催事業 商工会、商工会議所等が地域の消費喚起のため開催する物産展等を支援</p> <p>開催回数：府内5回程度 内 容：食品やスイーツ、工芸品など地域の特色を生かした特産品の販売、ステージイベントの実施 等</p> <p>(2) 農林水産業祭開催事業 生産者、農業法人等が地域の消費喚起のため開催する農林水産業祭を支援</p> <p>開催回数：府内6回程度 内 容：地域の農林水産物や加工品の販売等の消費拡大イベントや展示会の実施 等</p>		
担当課名	商業・経営支援課 組合担当 流通・ブランド戦略課 ブランド推進担当	課・担当 電話番号	075-414-4826 075-414-4941

事業名	革新的技術実証研究事業費＜2月補正＞		
予算額	10,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>農林水産業の活力創造を図るため、品質向上等の取組により、農林水産物の生産拡大に向けた革新的な技術開発を推進</p> <p>2 事業概要</p> <p>土壌水分変動に起因する減収や生産物の品質低下が課題となっている中、農林水産技術センターを中心とした、以下の技術を組み合わせた精密な土壌管理技術の共同研究により、収益向上を図る。</p> <p>① ICTを活用した地下水位制御システム</p> <p>② 迅速な土壌養分分析に基づく施肥管理</p> <p>※ 国の競争的資金を活用</p>		
担当課名	流通・ブランド戦略課 研究普及担当	課・担当 電話番号	075-414-4968

農 林 水 産 部

事業名	宇治茶世界文化遺産登録推進戦略事業費		
予算額	25,500千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>宇治茶の世界文化遺産登録に向けて、宇治茶生産の景観形成及び府民運動の拡大を推進</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 宇治茶生産の景観形成</p> <p>① 宇治茶生産景観資産価値向上事業 5,500千円 宇治茶世界文化遺産登録に向けて、世界レベルの資産価値や保全措置に関する調査等を国内外で実施し、推薦書原案を策定</p> <p>② 宇治茶生産景観継承支援事業 19,000千円 宇治茶生産の景観維持のため、「山なり茶園」の景観に配慮した被覆棚などの生産設備の整備等を支援</p> <p>(2) 府民運動の拡大</p> <p>世界文化遺産気運醸成事業 1,000千円 世界文化遺産登録を応援する府民運動の輪を広げるために、府民の気運醸成、府民協働及び情報発信の取組を推進</p> <p><取組内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宇治茶府民カレッジの開設 ・ イコモス関係者の国内招聘 <p style="text-align: right;">等</p>		
担当課名	農政課 企画政策担当 農産課 宇治茶・特産振興担当	課・担当 電話番号	075-414-4898 075-414-4944

事業名	茶業研究所機能強化整備事業費		
予算額	41,770千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>企業・大学等との連携・交流の促進など茶業研究所の機能強化を図るための基本・実施設計を実施</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 機能強化整備のための基本・実施設計</p> <p>これまでの新品種育成やお茶の栽培・製造に関する研究機能に加え、3つの機能を強化するために必要な施設の基本・実施設計を実施</p> <p>① 企業・大学との協働による食品加工や機能性を活かした商品開発支援（オープンラボ・交流室の設置）</p> <p>② 香りや旨み成分等の科学的根拠に基づく宇治茶の価値・魅力の発信（機器分析室、最新の研究機器の整備）</p> <p>③ 高い経営力と情報発信力を備えた茶業の担い手を育成（技術研修設備の整備）</p> <p><今後のスケジュール（見込み）></p> <p>平成27年度 基本・実施設計</p> <p>平成28年度 茶工場新築</p> <p>平成29年度 本館新築、施設供用開始</p> <p>(2) 産学官連携の強化による共同研究の推進</p> <p>茶業界や企業・大学等とともに宇治茶の新需要創出のための分野横断の研究会を開催</p>		
担当課名	流通・ブランド戦略課 研究普及担当	課・担当 電話番号	075-414-4968

事業名	農地中間管理事業推進基金積立金		
予算額	172,326千円 (うち2月補正 152,000千円)	新規・継続の別	継続
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 趣 旨</p> <p>農業経営の規模拡大、農用地の集団化、新規農業参入の促進等により、担い手ニーズに対応した農地集積を加速化するため、基金の積み増しを実施</p> <p>2 基金活用事業の概要</p> <p>農地の出し手と受け手のマッチングや、農地の貸付に伴い離農する者等に対する協力金の交付等</p>		
担当課名	担い手支援課 新規就業・金融担当	課・担当 電話番号	075-414-4902

事業名	保安林等適正整備事業費		
予算額	356,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 災害発生が危惧される集落に関わりの深い保安林等において、安心・安全な地域づくりのため、間伐等の森林整備及び治山施設の整備等を実施</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 保安林等機能強化事業費 146,000千円</p> <p>① 保安林機能強化事業費 集落に関わりが深い重要な保安林で間伐等の森林整備を実施</p> <p>② 要適正管理森林等災害予防事業費 要適正管理森林において予防的に行う危険木除去等に対する支援等</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 補助率等 1 / 2 以内（補助上限額：100万円） ○ 事業内容 府民の生命・身体に危害を及ぼすおそれを除去するため、危険木の除去等を実施 <p>(2) 防災施設整備事業費 210,000千円 山地災害未然防止のため整備が必要な溪流等について、治山ダム等を設置</p>		
担当課名	林 務 課 企画・経営担当 森 林 保 全 課 森 林 土 木 担 当	課・担当 電話番号	075-414-5016 075-414-5028

事業名	成長型林業推進事業費		
予算額	828,995千円 (うち2月補正 540,500千円)	新規・継続の別	新規
事業内容 〔目的対象方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>大型加工施設の誘致や府内産木材の増産体制強化・利活用の推進、需要拡大対策等、川上から川下まで一体となった成長型林業を実現</p> <p>2 事業概要</p> <p><u>(1) 林業ルネサンス推進事業費</u> 788,495千円【16-1】 (うち2月補正 540,500千円)</p> <p>○大型加工施設の誘致促進</p> <p>○府内産木材の増産対策、利活用の推進</p> <p><u>(2) 府内産木材利用拡大戦略事業費</u> 40,500千円【16-2】</p> <p>○環境にやさしいウッドマイレージ認証木材推進事業</p> <p>○木材需要拡大対策事業</p>		
担当課名	林 務 課 企画・経営担当 林業振興担当 林産振興担当	課・担当 電話番号	075-414-5016 075-414-5006 075-414-5009

平成27年度 当初予算案主要事項（平成26年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部

事業名	成長型林業推進事業費 林業ルネサンス推進事業費		
予算額	788,495千円 （うち2月補正 540,500千円）	新規・継続の別	新規
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>林業の成長産業化を図るため、大型加工施設の誘致や府内産木材の増産体制強化・利活用を推進</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 大型加工施設誘致促進 565,500千円 (うち2月補正 330,000千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業所設置と府内常用雇用促進の補助により、加工施設の立地を支援 ○大型加工施設と連携した住宅や公共施設等の部材をプレカット加工する施設整備を実施 <p>(2) 府内産木材増産促進 141,415千円 (うち2月補正 137,500千円)</p> <p>木材生産量の拡大を図るため、林業事業体の高性能林業機械のレンタルや導入の支援、切捨間伐から利用間伐への取組等を推進</p> <p>(3) 府内産木材活用促進 81,580千円 (うち2月補正 73,000千円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○木材利用の新たな可能性を引き出すため、鉄筋コンクリートや鉄骨と木材との融合による高層建築物の技術開発等を支援 ○木造公共施設や木質チップ製造工場の整備を促進 		
担当課名	林 務 課 林業振興担当 林産振興担当	課・担当 電話番号	075-414-5006 075-414-5009

<p>事 業 名</p>	<p>成長型林業推進事業費 府内産木材利用拡大戦略事業費</p>		
<p>予 算 額</p>	<p>40,500千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>継 続</p>
<p>事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕</p>	<p>1 趣 旨 ウッドマイレージCO₂認証木材を使用した木造住宅の建築に対し、緑の交付金を交付</p> <p>2 事業概要 (1) 環境にやさしいウッドマイレージ認証木材推進事業費 40,000千円 ウッドマイレージCO₂認証木材を一定量以上使用した住宅、店舗、事務所等の建築（新築及び増改築）に対し、その木材使用量に応じて緑の交付金を交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 交付の条件 ウッドマイレージCO₂認証木材を新築で5 m³以上、増改築で1 m³以上、内装工事のみで10 m²以上使用 ◆ 交付金の額 <構造材等>使用材積1 m³当たり10千円 <内装材>使用面積1 m²当たり2千円 ◆ 交付限度額 1戸当たりの交付金の限度額 400千円 <p>(2) 木材需要拡大対策事業費 500千円 ウッドマイレージCO₂認証木材の需要拡大を図るため、林業・木材業関係団体が実施する普及啓発活動に対し助成</p>		
<p>担当課名</p>	<p>林 務 課 林産振興担当</p>	<p>課・担当 電話番号</p>	<p>075-414-5009</p>

事業名	京都モデルフォレスト推進事業費		
予算額	6,000千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>森林所有者、ボランティア団体、NPO、企業、大学、行政等が連携した府民参画、府民協働による多様な森林づくりを推進するとともに、府民みんなで京都の森を守り育む「京都モデルフォレスト」運動の推進を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1)府民参加型モデルフォレスト推進事業 府民参加の森林づくり活動を推進するとともに、京都モデルフォレスト協会が行う取組を支援</p> <p>(2)森づくり交流促進事業 モデルフォレスト活動に関心のあるNPOや企業等と地域とのマッチングや森林づくり活動団体等の交流を促進</p> <p>3 事業主体</p> <p>京都府、市町村等</p>		
担当課名	モデルフォレスト推進課 推進担当	課・担当電話番号	075-414-5006

事業名	全国育樹祭開催準備費		
予算額	17,600千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>「全国育樹祭」の平成28年度開催に向けた準備に要する経費</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 開催準備費 関係団体等で構成する第40回全国育樹祭京都府実行委員会を設置し、先催県調査、関係機関との調整、広報等普及啓発を実施</p> <p>(2) 計画策定費 運営方法、式典内容等実施計画の策定</p> <p>(3) 式典運営費 記念式典に使用する楽曲の編曲、記念式典用苗木の事前育成 等</p> <p>(4) 記念行事費 全国育樹祭の開催の盛り上げと森の文化（森の京都）を全国へ発信することを目的とした、府民交流祭、国際シンポジウム等の開催</p>		
担当課名	モデルフォレスト推進課 全国育樹祭担当	課・担当 電話番号	075-414-5005

事業名	野生鳥獣被害総合対策事業費		
予算額	604,831千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 趣 旨</p> <p>野生鳥獣被害に強い地域づくりを進めるため、有害鳥獣捕獲や捕獲の担い手育成、地域ぐるみの防除対策等を実施</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 有害鳥獣に対する捕獲圧強化 240,895千円 新規担い手確保のための勧誘活動や捕獲班員の短期育成研修、有害捕獲や隣接府県との広域捕獲、個体処分等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広域有害鳥獣捕獲事業 複数の市町村や隣接府県との連携による広域捕獲隊を編成し、広域的な有害捕獲を実施 <p>(2) 地域防除力強化 363,936千円 防護柵の設置、ニホンザル適正管理、クマ剥ぎ被害防止、バッファゾーンの整備など、防除対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鳥獣被害防止総合対策事業 簡易防護柵から恒久型防護柵への転換を支援 		
担当課名	森林保全課 野生鳥獣担当	課・担当 電話番号	075-414-5023

平成27年度 当初予算案主要事項（平成26年度2月補正含む）説明

農 林 水 産 部
建 設 交 通 部

事業名	緑の公共事業費		
予算額	2,812,007千円 (うち2月補正 540,500千円)	新規・継続の別	一部新規
事業内容 (目 的 対 象 方 法 等)	<p>1 趣 旨 地球温暖化の防止や水土保全、水源かん養等に不可欠な京都の森林について、「豊かな緑を守る条例」の制度を活用しながら、多様な主体の参加と連携で森林を守り育てる様々な取組を促進することにより、緑豊かな環境を守り、併せて新たな雇用を創出する。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶京都モデルフォレストの推進 6,000千円 京都の森林を府民ぐるみで守り育てるモデルフォレスト運動を推進 ▶公益性の高い森林の整備 1,224,667千円 放置森林や水源地域の森林等の整備推進 ▶木質資源の積極的な利活用 887,995千円 (うち2月補正 540,500千円) 公共事業等への間伐材利用の促進、ウッドマイレージC02認証制度による府内産木材の利用促進 ▶森林生態系の保全 693,345千円 野生鳥獣対策、森林病虫害対策の推進 		
担当課名	林 務 課 企画・経営担当	課・担当 電話番号	075-414-5016

緑の公共事業費一覧

(単位：千円)

	区分	事業内容	予算額	担当部局
1	京都モデルフォレストの推進	京都モデルフォレスト推進事業費	6,000	農林水産部
2	公益性の高い森林の整備	いのちと環境の森づくり事業費（単独公共造林）	33,211	農林水産部
3		災害に強い森づくり事業費（単独公共治山）	120,938	
4		保安林整備事業費（公共治山）	71,648	
5		森林整備加速化事業費（公共造林等）	998,870	
6	木質資源の積極的な利活用	生活・交通基盤整備事業費	59,000	建設交通部
7		成長型林業推進事業費	828,995	農林水産部
8	森林生態系の保全	野生鳥獣保護事業費	18,300	農林水産部
9		野生鳥獣被害総合対策事業費	604,831	
10		豊かな里山再生事業費	70,214	
合 計			2,812,007	

文化環境部
農林水産部

事業名	農林水産業基盤整備事業費		
予算額	7,567,613千円 (うち2月補正 535,670千円)	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>ブランド京野菜などの生産振興により、京都の農林水産業を未来につなげるため、生産基盤を整備するとともに、農山漁村地域の整備を実施する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>■生産基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担い手への集積に向けた生産性の高い茶園の整備（宇治田原町湯屋谷地区） ・効率的な間伐に必要な路網の整備 ・農産物の安定生産のための取水・生産施設整備（国営亀岡中部地区、京丹後市女布地区 等） <p>■農山漁村地域の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業集落地域における排水施設の整備（農業集落排水） ・周辺環境と調和した排水路の整備（巨椋池3期地区） ・木造公共建築物、木質バイオマス供給施設の整備 ・土砂・立木等の流出を防止する治山ダムの整備 		
担当課名	水環境対策課 計画担当 農村振興課 計画基盤担当 水産課 基盤整備担当 林務課 林業振興担当 森林保全課 森林土木担当	課・担当 電話番号	075-414-5209 075-414-5048 075-414-4994 075-414-5006 075-414-5028